

「電池開発のための分析・解析技術講習会」

- リチウムイオン二次電池の開発の最前線と分析技術の役割 -

近年のエネルギー需給緊迫の中、高効率で蓄電・放電出来るリチウムイオン二次電池が脚光を浴びています。二次電池は電気化学反応を伴うため、分析化学的な知見が必要不可欠な分野です。この研究開発製品化を行うに上で必要とされる充放電評価試験・材料分析・セル劣化解析・安全性評価などの分析・解析技術を体系的に紹介します。また、併せてリチウムイオン二次電池の研究の第一人者である堀江教授に、最近の二次電池研究開発の動向についても講演して頂きます。分析に直接携わっておられる方はもちろん、分析データを活用される方々も奮ってご参加ください。

主催 (公社) 日本分析化学会

協賛 (公社) 電気化学会

期日 12月19日(水) 9:50~16:30

会場 大田区産業プラザ〔東京都大田区南蒲田1-20-20, 交通:京急蒲田駅徒歩3分〕

内容(講演50分+質疑10分)

9:30~ 受付開始

9:50~10:00 開会挨拶 実行委員長(慶應義塾大学) 鈴木孝治

10:00~11:00 リチウムイオン二次電池の試作とその評価試験
(JFEテクノリサーチ) 島内 優

11:00~12:00 素材分析 (東レリサーチセンター) 森脇博文

12:00~13:00 昼休み

13:00~14:00 基調講演 リチウムイオン二次電池の現状と将来
(東京大学) 特任教授堀江英明

14:00~15:00 セル・劣化解析 (日産アーク) 馬場輝久

15:00~15:10 休憩

15:10~16:10 計算シミュレーションによる安全性等セル評価 (コベルコ科研) 山上達也

16:10~16:30 総合討論 (日産アーク) 志智雄之

詳細は本会ホームページをご参照ください。

参加費 日本分析化学会正会員10,000円(なお、特別会員会社、公益会員団体に所属される方は1名のみ会員扱い、維持会員会社に所属される方は何名でも会員扱いとします)。その他15,000円。

定員 150名(申込順受付)

申込締切 12月5日(水)。定員に達した場合はこれより前に締めきります。

参加申込方法 <http://db.jsac.or.jp/separation/> にアクセスして必要事項を入力してください。入力後、自動返信されるメールをプリントアウトしてご持参のうえ、受付にお示しください。

送金方法 受講申込到着後、受領通知とともに請求書を送りますので、指定口座に受講料を期日までにお振り込みください。振込手数料は貴方でご負担ください。なお、受講料の返金はいたしませんのであらかじめご了承ください。

問合・連絡先 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2-304 (公社) 日本分析化学会
電池講習会〔電話:03-3490-3351, F A X:03-3490-3572, E-mail:battery@jsac.or.jp〕